

古河大使 活動レポート

今回は 井上高志さん をご紹介



Profile 井上 高志

昭和25年古河市生まれ。古河第一高等学校卒業。昭和49年、文学座附属演劇研究所でデビュー。その後、多くの舞台や映画、テレビドラマに出演。主な出演作品は、舞台「そして誰もいなくなった」、映画「相棒-劇場版Ⅱ-」CM「博水社・ハイサワー」等

生誕150周年記念の舞台 『鷹見久太郎物語』に出演決定

鷹見泉石のひ孫で、大正時代に雑誌編集者として活躍した鷹見久太郎の生涯を描く作品。井上さんは、久太郎の恩師でもあり、共に編集者を務めていた、作家・国木田独歩役として出演します。

日時 3月21日(土)18時30分、3月22日(日)13時
場所 野本電設工業コスモスプラザ
費用 3,000円(当日3,500円)
販売期限 3月18日(水)QR
問 渡辺恒久Tel090-9102-4054



comment

井上さんからコメントをいただきました

鷹見久太郎は絵雑誌「コドモノクニ」を創刊し、子どもたちの健やかな成長を願って雑誌を作り続けた人物。舞台を通して、市民の皆さんに久太郎の素晴らしさを伝えたいと思います。古河で渡辺裕太さんと共演できるのも感慨深いです。

古河大使とは

市出身または、ゆかりのある著名人の皆さまに「古河大使」として市の魅力を広く内外へ紹介・PRしていただき、古河市の知名度やイメージの向上を図っています



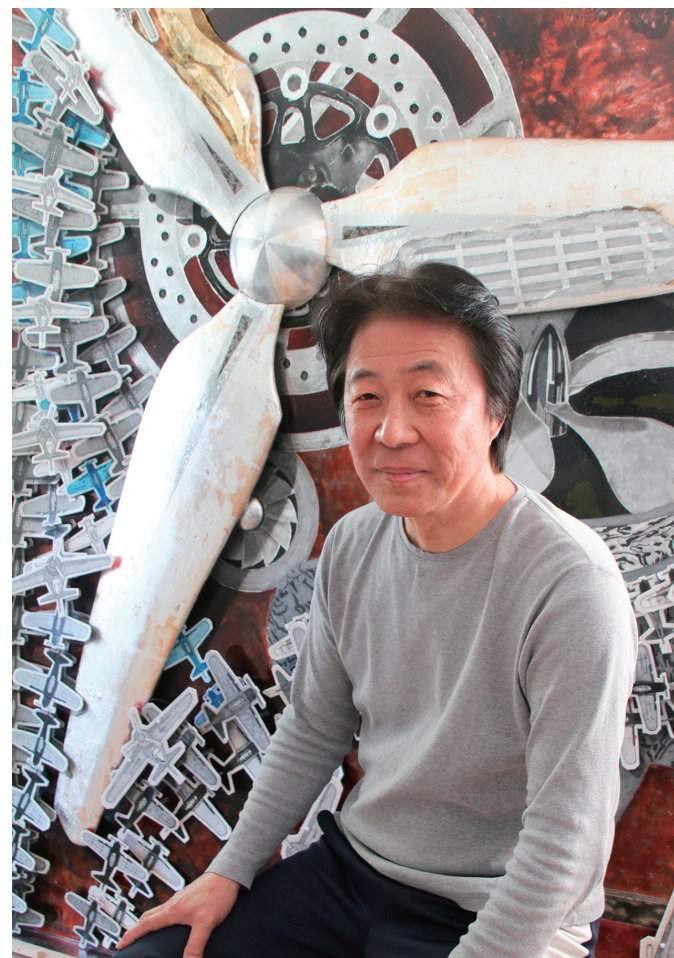
筑波宇宙センターで働きたい

山本愛実さん 西牛谷小学校6年生

私の将来の夢は筑波宇宙センターで働くことです。小学5年生の時に家族と筑波宇宙センターを見学しました。その時、働いている職員の方々がとても格好良く、輝いて見えました。そして私も、ここで働きたいという強い憧れを持ちました。私は筑波宇宙センターで、人工衛星やロケット・輸送システムの開発に関わり、より良い社会になるようにしていきたいです。夢をかなえるため、たくさん勉強をして大学へ入り、筑波宇宙センターで働きたいです。



わたしの夢



キラリ 古河ビト

美術の面白さが伝わる作品を
自由な発想で作りあげる画家

高橋義道さん(66歳・原町)

歴史ある美術団体「独立美術協会」の準会員である高橋さん。昨年10月に国立新美術館で開催された「独立展」で松樹賞を受賞。見る人に楽しんでもらえるよう、独自の表現を追求しながら作品作りを続ける高橋さんに、作品にかけの思いや今後の活動について伺いました。

昔から絵を描くことが好きで、自身にしか表現できないものを追求し続ける高橋さん。6年ほど前からは飛行機をモチーフとした作品作りに取り組んでおり、その思いが今回の受賞へとつながりました。

松樹賞を受賞した「景Ⅱ」をはじめとする同モチーフの作品は、迫力のある大きなプロペラや大量に並んだ飛行機などの立体物と、絵を組み合わせている点特徴。塗料にはタルク(石材)や墨汁などを使い、色付けは筆でなく、プラスチックのスプレーやフォークを用いることで筆の跡を残さず、塗料による盛り上げを生かすほか、飛行機の影には網戸ネットを採用するなど、斬新なアイデアを基に作り上げられています。

自身の作品を見た人たちが「楽しい」「面白い」と感じたり、会話のきっかけになったりするとうれしい。自分にはできない表現を探して、納得がいくまで試行錯誤を繰り返すと話してくれました。

毎年秋には、仲間と街角美術館でグループ展「古河現代美術展」を開催しています。そこが高橋さんにとって新作を発表する場でもあるそうです。写真では伝わりきらない迫力と細部へのこだわりを感じ、今年のグループ展に足を運んでみてはいかがでしょうか。

今後のスケジュール Weg2026展 (グループ展)

期間 5月18日(月)~24日(日)
時間 11時~18時30分
(最終日は16時まで)
場所 銀座ギャラリー向日葵
(東京都中央区銀座5-9-13)



▲松樹賞を受賞した「景Ⅱ」



▲試行錯誤し作品を生み出すアトリエ